



第56回



# 豊田おいでんまつり 実施報告

令和6年10月7日

豊田おいでんまつり実行委員会



## 1 構成

豊田おいでんまつりは、マイタウンおいでんとおいでん総踊りからなる「踊り」と、「花火大会」で構成

## 2 趣旨

市民が楽しみ、感動し、訪れる人を温かく迎えることができるようなふるさとのまつりを市民・事業者・行政の共働の力でつくりました。また、市民が豊田市の素晴らしさを再認識し、郷土愛を醸成する「WE LOVE とよた」が体感できる取組を行いました。

## 3 主催

豊田市・中日新聞社・東海テレビ放送

## 4 基本テーマ

### 「WE LOVE とよた」 魅力発見 ふるさとのまつり

- ・ 「WE LOVE とよた」の露出を高め、市内外へとよたの魅力を発信しました。
- ・ 地域を巻き込んだ「WE LOVE とよた」の演出により、魅力あるまつりとなりました。

## 5 スケジュール

日 程	内 容
1月 4日(木)～1月12日(金)	マイタウンおいでん開催団体募集
3月25日(月)～5月7日(火)	おいでん踊り連、リトルおいでん、おいでんアートの参加募集 ※総踊りに直接参加を希望する「中高生連」は6月28日(金)まで申込受付
5月8日(水)～5月23日(木)	協賛席豊田市民先行申込受付
5月15日(水)	マイタウンおいでん参加連の発表（公式 HP で発表）
5月15日(水)～5月27日(月)	おいでん踊り連、リトルおいでん、おいでんアートの参加追加募集
5月28日(火)	マイタウンおいでん追加参加連の発表（公式 HP で発表）
6月3日(月)～6月7日(金)	リトルおいでん踊り位置抽選
6月3日(月)～6月21日(金)	協賛席一般申込受付
6月8日(土)～7月13日(土)	マイタウンおいでん（15会場）
7月16日(火)	おいでん総踊り参加連説明会、踊りスタート位置の抽選会
7月23日(火)	おいでん総踊りスタート位置の発表（公式 HP で発表）
<b>7月27日(土)</b>	<b>おいでん総踊り</b>
<b>7月28日(日)</b>	<b>花火大会</b>

## 6 豊田おいでんまつり第56回開催に向けての関係会議等

年	日 程	内 容
令和5年	10月2日(月)	第1回 踊り部会
	10月5日(木)	第1回 マイタウンおいでん連絡協議会
	10月17日(火)	第1回 幹事会(基本計画)
	10月27日(金)	第1回 実行委員会(基本計画)
	11月6日(月)	第2回 踊り部会
	12月8日(月)	第3回 踊り部会
令和6年	1月9日(火)	第2回 マイタウンおいでん連絡協議会
	1月22日(月)	第4回 踊り部会
	2月9日(金)	第2回 幹事会(実施計画)
	2月9日(金)	第3回 マイタウンおいでん連絡協議会
	2月16日(金)	第3回 幹事会(実施計画)
	2月19日(月)	第5回 踊り部会
	3月7日(木)	第4回 マイタウンおいでん連絡協議会
	3月15日(金)	第2回 実行委員会(実施計画)
	3月25日(月)	第6回 踊り部会
	4月11日(木)	第5回 マイタウンおいでん連絡協議会
	4月23日(火)	第7回 踊り部会
	5月9日(木)	第6回 マイタウンおいでん連絡協議会
	5月10日(金)	第4回 幹事会(事業報告、第56回開催に向けて)
	5月13日(月)	第8回 踊り部会
	5月17日(金)	第3回 実行委員会(事業報告、第56回開催に向けて)
	5月27日(月)	花火師事前説明会
	5月30日(木)	第7回 マイタウンおいでん連絡協議会
	6月3日(月)	第9回 踊り部会
	6月24日(月)	第10回 踊り部会
	7月8日(月)	第11回 踊り部会
	7月16日(火)	警備部会
	7月16日(火)	踊り連説明会及びスタート位置決め抽選会
	7月24日(水)	踊り審査員説明会
	8月1日(木)	踊り連意見交換会
	8月8日(木)	第8回 マイタウンおいでん連絡協議会
	8月20日(火)	第12回 踊り部会
	9月26日(木)	第5回 幹事会(実施報告)
10月7日(月)	第4回 実行委員会(実施報告)	

# I 踊りについて



## 1 マイタウンおいでん

### (1) 開催実績

- ア 開催期間 6月8日(土)～7月13日(土)
- イ 会場数 15会場(前回実績:14会場)
- ウ 開催回数 15回(前回実績:14回)
- エ 踊り連数 113連 2,288人、リトル:15連 463人  
(前回実績:94連 1,880人、リトル:17連 552人)
- オ 観客数 28,280人(前回実績:22,478人)
- カ 各マイタウンおいでんの実績

開催日	マイタウン名称	踊り連		リトルおいでん		観客数
		連数	人数	連数	人数	
6月8日(土)	いけいけ鞍ヶ池おいでんまつり	12 (9)	265 (129)	0 (1)	0 (33)	3,850 (2,200)
	元祖おいでん上郷!2024	5 (5)	111 (103)	1 (1)	28 (29)	3,000 (2,000)
6月15日(土)	いざ出陣!松平おいでんまつり (エコフルタウンおいでんまつり)	9 (7)	199 (112)	1 (0)	31 (0)	1,000 (1,200)
	踊ろ舞!おいでん小原	3 (5)	43 (52)	0 (0)	0 (0)	1,500 (300)
6月22日(土)	ほみにおいでん	10 (-)	158 (-)	0 (-)	0 (-)	1,000 (-)
	マイタウンおいでん 香恋の里しもやま	4 (5)	73 (109)	0 (0)	0 (0)	300 (250)
6月29日(土)	足助地区おいでんまつり	6 (3)	110 (57)	0 (0)	0 (0)	500 (150)
	稲武おいでんまつり2024	4 (3)	61 (45)	0 (0)	0 (0)	280 (278)
	猿投おいでん夏まつり	10 (13)	161 (224)	3 (3)	99 (130)	2,500 (2500)
6月30日(日)	豊スタおいでん夏まつり2024	18 (14)	354 (346)	1 (3)	44 (57)	4,000 (3,000)
7月6日(土)	おいでんあさひ風鈴まつり	5 (3)	54 (30)	2 (2)	32 (23)	500 (300)
7月13日(土)	IYOIYO おいでん	8 (9)	180 (234)	0 (0)	0 (0)	250 (500)
	ふじおかおいでん夏まつり	5 (8)	122 (146)	1 (1)	10 (10)	4,000 (4,000)
	ほ~いおいでん大林2024 大林町納涼祭	6 (5)	212 (161)	2 (3)	77 (161)	2,300 (2,300)
	マイタウンおいでん高岡	8 (5)	185 (132)	4 (3)	142 (109)	3,300 (3,500)
合計		113 (94)	2,288 (1,880)	15 (17)	463 (552)	28,280 (22,478)

※ ( ) 内は前回実績

## (2) 概要

- ア 昨年度より開催団体が1つ増え、市内15会場で実施しました。
- イ 会場では、各マイタウンおいでん実行委員会が主体となり、地域の特色を活かした和太鼓や風鈴、盆踊りなどの企画に加え、特産品や地元グルメの出店など、工夫を凝らした内容で会場を盛り上げました。
- ウ マイタウンおいでん連絡協議会においては、暑さ対策などの運営面での意見交換のほか、地域や学生との連携方法などの協議を行いました。

## (3) 新たな取組と成果

- ア ツーリズムとよたと連携するなど、各会場の特徴や地域情報などの情報発信を強化し、踊り連、観客の増加につなげました。
- イ 総踊りに関して、共同事業「くるくるおいでんペンゴ」のPRや、「マイタウンおいでん実行委員会からの応援メッセージ」をアナウンスするなど、マイタウンおいでんと総踊りが一体となった演出を行いました。
- ウ マイタウンおいでん連絡協議会において、Web会議を導入するなど事務の効率化を図りました。

## (4) 課題

- ア マイタウンおいでんが各会場での取組や地域の魅力を発信する機会と捉え、踊り連に加え、多くの観客に來場してもらう取組の充実、情報発信の工夫が必要です。
- イ より多くの方に安心して参加いただくため、雨天時の対応や熱中症対策に適した会場選定、当日の運営体制を検討していく必要があります。

## 2 おいでん総踊り

### (1) 開催実績

- ア 開催日時 7月27日(土) 17:45～21:00
- イ 参加者数 55連 1, 560人、リトル: 12連 363人  
(第55回実績: 45連 1, 214人、リトル: 11連 349人)
- ウ スケジュール

行事名	開催時間	場所	主な行事内容
オープニング	17:45～19:05	名鉄 豊田市駅 東側一帯	・おいでん remix、スプラッシュおいでん ・各種受賞者お祝い 【豊田少年少女発明クラブ、塚本 光琉選手・廣瀬 礼衣選手(豊田市ソフトテニス協会)、Soul West(豊田市ドッジボール協会)、豊田大谷高校ダンス部] ・豊田市ジュニアマーチングバンドによるパレード ・こじまこども園、美里幼稚園鼓笛隊による演奏 ・大賞旗返還、市長挨拶 ・おいでんコール
リトルおいでん	19:05～19:25		未就学児による踊り
おいでん踊り	19:35～21:00		踊り連(一般・子ども・中高生)による踊り
おいでんアート	19:35～21:00		おいでんアート(3基)
屋台広場	17:00～21:00	拳母神社	屋台

## Ⅰ 表彰結果

賞	部門	連名
おいでん大賞	ベーシック	USJC
	フリー	KARAmín's
優秀賞	ベーシック	保見スカイジャンプ
	フリー	ReMSH
トヨタふれあい大賞	ベーシック	Sweet devil
	フリー	Hope☆Star
チビッコ大賞	ベーシック	もとしろっこ AB
	フリー	レインボースターランチャー学園
入賞	ベーシック	POP de No.1 とよしん踊り連 COPAIN STAR RUBY
	フリー	エンジェル RG ULYSIS
ニューフェイス賞	共通	EAS Dancing Stars
WE LOVE とよた賞		チームホリデイ！！
アオハル賞		Chipi キュア
踊り部会長賞		子育て戦隊パパレンジャー
オーディエンス賞		エンジェル RG
おいでんアート大賞		矢作川水族館 with キッズランナー
おいでんアート優秀賞		大林学区踊り連

※その他個人賞として 65 人にメダルを配布

## (2) 概要

### ア オープニング

モデル・タレントのヴァイトルとひまわりネットワークアナウンサー原田栄が総合司会を務めました。

### イ WE LOVE とよたの PR

オープニングにおいて、豊田市で活躍する著名人の登壇や、市民の輝かしい功績を称えるなど、来場者に向けて豊田市の魅力を発信しました。

### ウ 踊り全体

(ア) 会場での一体感を高める取組みとして、プログラム中に全員でポップ（ベーシックスタイル）を踊る時間を設けました。

(イ) 踊ることの楽しさを体感してもらうため、観客が踊りに参加できる「飛入り連」を設けました。

(ウ) 若年層の参加を促進するため、おいでんまつりの体験企画「青春おいでん」を実施し、市内在住・在学の高校生が 14 人参加しました。

(エ) 若年層においでん踊りを普及するため、おいでんまつりの歴史や、踊りの指導等を行うおいでん出前講座を市内中学校（竜神中学校、上郷中学校、井郷中学校の 3 校）で実施しました。

(オ) 熱中症対策として、会場内にミスト扇風機を増設したほか、踊り時の休憩時間の確保や、水分補給を促す注意喚起を徹底しました。

### (3) 新たな取組と成果

ア 誰もが楽しめる新しい企画として、「スプラッシュおいでん」を実施し、157人が参加しました。若者や親子等が総踊りに来場する機会を創出するとともに、熱中症対策としても効果を発揮しました。

イ 若年層の参加やおいでん踊りの普及を目的として、市民の愛着がある「おいでん」をEDM（エレクトロニック・ダンス・ミュージック）調にアレンジした「おいでんremix」を製作しました。スプラッシュおいでんのBGMとして使用し、会場を盛り上げました。

ウ 踊り連として参加する姿勢や市民まつりとして楽しみを表彰する特別賞（ニューフェイス賞、WE LOVE とよた賞、アオハル賞、踊り部会長賞）を設けたほか、会場の観客に投票してもらう、オーディエンス審査（オーディエンス賞）を実施し、誰もが楽しめる取組の充実を図りました。

エ 地元企業（トヨタ元町工場夏まつり）と連携して会場内でおいでん踊りを実施し、従業員や地元自治区が参加したほか、市内外の多くの方においでん踊りをアピールしました。

### (4) 課題

ア 参加連数の増加や、「飛び入り連」への参加状況などから、「ふるさとのまつり」として豊田市民に定着しつつあるため、数年先を見据えた若年層へのおいでん踊りの普及や、誰もが気軽に参加できる取組を充実させる必要があります。

イ 総踊りに初めて参加した踊り連が 14 連と昨年度から増加しており、継続して参加してもらえるようなまつりの雰囲気づくりや、情報発信の工夫を検討していく必要があります。

スプラッシュおいでん



リトルおいでん



青春おいでん



総踊り



## Ⅱ 花火について



### 1 花火大会

#### (1) 開催実績

ア 開催日時 7月28日(日) 19:00~20:40

イ 観客数(協賛席入場者数)

第56回 13,578人(全16,557席) ※来賓席等含む

参考:第55回 12,810人(全17,097席) ※来賓席等含む

ウ 打上発数 非公開

エ 煙火業者等 株式会社拳母煙火(豊田市)、有限会社豊田煙火(豊田市)、株式会社磯谷煙火店(岡崎市)、株式会社紅屋青木煙火店(長野県)、有限会社太陽堂田村煙火店(長野県)、三遠煙火株式会社(静岡県)、田畑煙火株式会社(静岡県) 一般社団法人日本煙火芸術協会、松平郷手筒保存会

#### (2) 概要

ア 駅周辺工事を踏まえた帰宅困難者対策として、開催時間を変更しました。

イ 協賛席の座席数について、2人マス席を増やすなど、第55回の実績に基づく見直しを実施しました。

ウ 第55回に引き続き、おいでんまつりの新たなシンボルになることを目指し、複数の協賛者により1つのスターマインを打ち上げる「おいでん大スターマイン サンフラワー」の取組を実施しました。

#### (3) 新たな取組と成果

ア **プレミアテーブル席を新設(2人席140人分、4人席640人分)**し、新たな協賛席メニューを提供することができました。

イ 熱中症対策として、**市街地でのミストファン設置**や**協賛席内での飲料販売を新たに実施**しました。

ウ 堤防の法面の立入禁止措置をネットフェンスに変更し、**危険な法面での観覧を防ぐことができました。**

エ **会場アナウンスを多言語化**(ポルトガル語、ベトナム語、英語の3か国語)し、熱中症の注意喚起やごみ、喫煙のマナーを呼びかけました。

#### (4) 課題

ア 河川敷の草木への引火予防策、フェンスやテント等の資機材のしっかりとした固定など、安全・安心な会場準備・設営に引き続き努めていく必要があります。

イ 市民に愛されるまつりとするため、会場周辺のゴミの回収方法について検討する必要があります。

# Ⅲ 警備について



## 1 会場警備・交通規制・雑踏

### (1) 警備体制実績

(単位 人)

内 容		踊り		花 火		合 計	
		第 56 回	第 55 回	第 56 回	第 55 回	第 56 回	第 55 回
警備員	警備ディレクター	9	9	13	13	22	22
	エリア長	0	—	13	—	13	—
	警備隊長	14	14	28	26	42	40
	遊撃警備	43	43	50	50	93	93
	交通誘導警備	60	51	158	130	218	181
	雑踏警備	86	83	384	305	470	388
	駐車場警備	10	10	28	32	38	42
	整理誘導要員	5	5	94	69	99	74
消防団		43	32	199	180	242	212
合 計		270	247	967	805	1,237	1,052

### (2) 概要

ア 駅前現地本部内において、警備・警察・消防との連携体制を密にするとともに、各種警備員の適切な配置により、過度な混雑状況等に対しても迅速に対応することができました。

イ 警察、鉄道 2 事業者、実行委員会による 4 者協議を開催し、駅前の混雑緩和対応策の検討とその方針の共有を図ったことで、スムーズに観客を誘導することができました。

ウ 花火大会では救急車などの緊急車両動線と、来場者の歩行者動線を確保するため、駅前停車場線、白浜側堤防道路上（久澄橋～高橋の間）に、カラーコーンなどの資材を用いて「緊急対策エリア」を設けました。

エ 立入禁止区域と交通規制区域内への進入防止や、会場周辺の渋滞を防ぐため、誘導・迂回看板、横断幕を適所に設置しました。

### (3) 新たな取組と成果

ア 駅周辺工事の状況を踏まえ、駅への復路動線や警備員の配置を見直し、駅利用者による待機列の早期解消など、駅前の混雑を緩和することができました。

イ 花火大会における臨時駐車場 6 か所（1,234 台）の事前予約制・有料化を実施し、周辺道路の交通渋滞緩和及び来訪者の利便性向上につなげました。

ウ 八幡公園内において、警備員を増員するとともに、観覧防止用資機材を設置し、座り込みによる花火観覧の滞留抑制し、入場制限をかけることなく、安全に運営することができました。

エ 定点カメラや、現地警備員に取り付けたウェアブルカメラによる映像を用いて、駅前現地本部内にてリアルタイムの現場状況を確認したことで、過度な混雑状況などに対して早期に対応することができました。

オ 各エリア単位で、担当する警備会社の責任者と、警察や実行委員会による合同現場実査を実施し、警備体制の強化を行うことで、警備員の役割意識の向上を図りました。

### (4) 課題

ア 花火大会時の堤防道路において、立ち見による滞留が発生し、人流のコントロールが困難となる時間帯がありました。堤防道路上の花火観覧を抑止し、歩行者の流れを確保する対策検討が必要となります。

イ 鉄道への復路動線において、帰宅者が集中し、待機列が長くなる時間帯がありました。鉄道帰宅者の流れを確保する対策検討が必要となります。

## 2 救護

### (1) 救護実績

(単位人)

状 況	踊り		花火		両日	
	第 56 回	第 55 回	第 56 回	第 55 回	第 56 回	第 55 回
怪 我 (うち、救急搬送人数)	2 (0)	2 (1)	9 (0)	9 (1)	11 (0)	11 (2)
体調不良 (うち、救急搬送人数)	11 (4)	3 (1)	33 (6)	37 (16)	44 (10)	40 (17)
その他 (うち、救急搬送人数)	1 (0)	1 (1)	7 (1)	5 (3)	8 (1)	6 (4)
合 計 (うち、救急搬送人数)	14 (4)	6 (3)	49 (7)	51 (20)	63 (11)	57 (23)

※救護所数	4 か所	4 か所	8 か所	8 か所
-------	------	------	------	------

### (2) 概要

- ア 各救護所に消防職員を配置し、水、氷、A E D、車イス、救急用医薬品等を設置しました。
- イ 救急車の出動時には、消防・警察・警備員と連携して、事前に定めたピックアップポイントを活用し、緊急対策エリアが有効に機能し、迅速な搬送に努めました。

#### ▼定点カメラ



#### ▼駅前現地本部



<ウェアブルカメラの様子>

#### ▼八幡公園



#### ▼救急隊ピックアップ



## Ⅳ その他会場・運営について



### 1 運営スタッフ・ボランティア

#### (1) 実績（清掃活動参加者を含む。）

（単位 人）

内 容		踊り		花火		両日	
		第56回	第55回	第56回	第55回	第56回	第55回
市職員	産業部	52	52	85	91	137	143
	消防	21	28	48	48	69	76
	その他応援	6	1	63	8	69	9
委託スタッフ	進行	12	11	32	21	44	32
	運営	59	55	121	96	180	151
	清掃	0	0	15	0	15	0
ボランティア	一般・市職員 互助会	42	45	54	44	96	89
	市役所職制会	0	0	22	69	22	69
	企業・団体	53	30	31	42	84	72
合 計		245	222	471	419	716	641

#### (2) 概要

- ア 市職員の応援を増員することで、確実な人員確保及び配置ができ、円滑な運営に資することができました。
- イ 一般ボランティア、企業・団体ボランティアとともに昨年を上回る人数の方にご参加いただき、市民との共働によるまつりを実施することができました。

### 2 ごみ・清掃対策

#### (1) ごみ回収量実績

（単位 kg）

区 分		踊り		花火		両日	
		第56回	第55回	第56回	第55回	第56回	第55回
資源ごみ	ペットボトル	130	200	1,180	1,110	1,310	1,310
	カン・ビン	125	130	590	595	715	725
燃やすごみ		180	210	1,850	1,600	2,030	1,810
産業廃棄物（廃プラ）		190	540	5,860	5,240	6,050	5,780
排出量合計		625	1,080	9,480	8,545	10,105	9,625

#### (2) 概要

- ア ごみステーションにスタッフを配置し、会場内やその周辺のごみ分別・回収活動を実施しました。
- イ ごみステーションの開設時間について、露店等の営業時間に対応したものとし、スタッフの業務についても、運営時間が長いごみステーションにおいては、早番と遅番の交代制をとり、効率的なごみの回収に努めました。

### 3 屋台広場

#### (1) 開催実績

日にち	出店時間	場所	店舗数 (昨年度)
7月27日(土)	17:00~21:00	拳母神社屋台広場	60店(46店)
7月28日(日)	17:00~20:40	豊田スタジアム東エリア	38店(19店)
		スカイホール豊田南入口エリア	41店(29店)
		八幡公園	88店(61店)
		とよたキッチンカーまるしえ	15店(8店)

#### (2) 概要

- ア 屋台広場は、終了時間まで多くの人で賑わい、まつりの雰囲気を楽しみ出すことができました。
- イ 消防と連携し各店舗に立入検査を実施し、消火設備等の確認を行い、安全確保に努めました。
- ウ 花火観覧客分散のため、川端公園にて豊田市の特産品を扱う「キッチンカーまるしえ」を行いました。

#### (3) 課題

- ア 八幡公園では、座り込みによる滞留を防止することができましたが、花火観覧客による滞留が一部見受けられたため、適切な動線の確保等の対策が必要となります。
- イ 川端公園の「キッチンカーまるしえ」について、事前案内や当日の警備員による誘導などにより、多くの方を集客することができましたが、さらなる花火観覧客の分散に向けた対策が必要となります。

#### <川端公園キッチンカーまるしえの様子>



▲まるしえ出店



▲川端公園からの打ち上げ花火

#### <その他屋台広場の様子>



▲八幡公園



▲八幡公園 (資機材設置)



▲スカイホール豊田

## V 協賛について



### 1 協賛実績（9月1日現在）

（単位 円）

区 分	第56回	第55回
花火	100,048,000	92,888,000
法人	33,789,000	32,087,000
バスツアー	130,000	167,500
個人	66,129,000	60,633,500
広告等	8,150,000	8,010,000
その他（賞金等）	863,500	874,500
合 計	109,061,500	101,648,500

### 2 概要

- ア 花火協賛では昨年を上回る協賛をいただいております、盛大な花火大会を開催することができました。
- イ 個人協賛の受付では、Web とハガキでの抽選方式による受付を行いました。また、抽選方式受付終了後の先着受付においては、全国のセブン-イレブン及びチケットぴあの Web サイトでの受付を行いました。
- ウ 協賛席への入場は電子端末を利用した非接触入場方式とし、円滑な入場を実現しました。

### 3 新たな取組と成果

- ア 収入確保及び協賛席の付加価値創出のため、株式会社スノーピークビジネスソリューションズとの連携により、スノーピーク社製のテーブル及びチェアを使った「プレミアテーブル席（2人席・4人席）」を新設したほか、売れ行きに応じた座席数の見直し、SNS を活用した協賛席の PR を行った結果、昨年を上回る協賛金額となりました。

### 4 課題

- ア 市外、県外からのバスツアーについては、ニーズを改めて検証し、必要性も含めて検討する必要があります。
- イ 協賛席の種類によって売れ行きに差があるため、座席数の変更も視野に入れて検討する必要があります。

## 1 総務

- (1) 業務が集中する期間（4/1～8/31）において、専任の臨時職員を1名雇用しました。
- (2) 台風等の影響に伴うまつり中止への対応として、興行中止保険へ加入しました。

## 2 広報宣伝実績

### (1) テレビ放送

#### ア 東海テレビCM放送

7月17日（水）から22日（月）にかけて、30秒間のCMを9回放送しました。

#### イ ひまわりネットワーク生中継

おいでん総踊り・花火大会当日に、生中継を行いました。

また、YouTubeでも同様の内容をライブ配信しました。

### (2) 新聞広告

新聞名	掲載日
新三河タイムス	6/7（金）
矢作新報社	7/19（金）
毎日新聞	7/23（火）
中日新聞	7/27（土）

### (3) ポスター

踊り連募集とおいでんまつりをPRする2種類のポスターを作成し、市内各所に掲示することによっておいでんまつりを盛り上げました。

（踊り連募集PR 1,190枚、全体PR 4,100枚）

掲示先	掲示期間	踊り連募集用	まつり用
マイタウンおいでん運営委員会	3月中旬～	375枚	360枚
協賛企業・近隣市町村	3月中旬～	400枚	1,400枚
市内組合業者・宿泊施設	3月中旬～	30枚	550枚
市関係機関 他	3月中旬～	285枚	390枚
おいでんバス・名鉄バス	3月中旬～	100枚	100枚
名鉄電車・愛知環状鉄道	6月中旬～	-	1,300枚

### (4) 公式ガイド

ア おいでん総踊り及び花火大会の情報を掲載した公式ガイドを15万部作成しました。

イ 7月20日（土）に市内全域及び周辺地域に新聞折込、7月26日（金）・27日（土）にポスターリングを行うとともに、まつり当日に会場や中心市街地の施設などで配布しました。

## (5) 新聞記事、広報とよた

おいでんまつりに関する記事を、中日新聞をはじめ各社に掲載していただきました。

新聞社	掲載日	内容
中日新聞	4月12日	第56回豊田おいでんまつり 踊り連参加申込の受付中
中日新聞	4月18日	豊田おいでんまつり実行委員会は、法人協賛を受け付けている
中日新聞	5月17日	総踊りに向け、実行委員会は水鉄砲や放水を使った演出を検討
中日新聞	5月31日	花火大会で臨時駐車場の有料化と予約制を導入
中日新聞	6月9日	豊田おいでんまつり 鞍ヶ池公園でのマイタウンおいでんを皮切りに始まった
読売新聞	6月29日	花火大会 公式駐車場を事前予約制に
中日新聞	7月12日	総踊りでスプラッシュおいでんを実施 概要が決まった
中日新聞	7月25日	27、28日豊田おいでんまつりが開かれる 混雑が見込まれる
中部経済新聞	7月26日	豊田市はデンソーウェーブと協力し、豊田おいでんまつり花火大会の人流データ取得の実証実験を行う
中日新聞	7月26日	豊田おいでんまつりに向けて、駅前や会場で準備が本格化
中日新聞	7月26日	第56回豊田おいでんまつり 臨時駐車場は今年から予約有料制
中日新聞	7月27日	駅周辺一帯の再開発工事 雑踏事故が起こらないよう厳戒態勢で
中日新聞	7月27日	27日総踊りスタート 周辺道路が交通規制される
中日新聞	7月28日	7/27 総踊り開催 スプラッシュおいでんを初めて実施
中日新聞	7月29日	7/28 矢作川河川敷にて花火大会開催 今大会から新たにプレミアムテーブル席を設置
中日新聞	7月30日	花火大会協賛席だけで1万3,578人（昨年比千人増）が来場
中日新聞	7月31日	救護室対応件数2日間で計57件 重篤者はなし
中日新聞	8月1日	初開催されたスプラッシュおいでん 花火大会には大勢の見物客

## (6) 情報誌・インターネットサイトなど

県内外の情報誌、インターネットサイトなどに掲載していただきました。

宣伝媒体	件数
情報誌	11
インターネットサイト	11
合計	22

## (7) テレビ、ラジオなど

放送機関	内 容	日 付
ラジオラヴィート ホットニュースとよた	花火協賛受付、おいでん総踊り、 花火大会告知	3月25日、5月21日
東海テレビ チャージ	おいでん総踊り、花火大会告知	7月20日
ひまわり（CATV） とよたNOW 特集	おいでん総踊り、花火大会告知、 駅周辺工事の周知	7月22日～26日
東海テレビ スイッチ！	おいでん総踊り、花火大会告知	7月22日
ひまわり（CATV）	おいでん総踊り中継	7月27日
ラジオラヴィート	おいでん総踊り中継	7月27日
ひまわり（CATV）	花火大会中継	7月28日
ラジオラヴィート	花火大会中継	7月28日

### 3 概要

- ア おいでんまつりに関するは報道発表を定期的に行いました。
- イ テレビ・雑誌・ラジオなどメディアの取材で積極的にPR活動を行いました。
- ウ 公式ホームページ及び公式Instagramをととし、おいでんまつりの特徴や魅力、各種情報を多くの方に発信することができました。
- エ 市公式SNS（X（旧：Twitter）、Facebook、LINE）の活用、ツーリズムとよたHP及びFacebookの発信のほか、ひまわりネットワークと緊急情報発信に関する覚書を締結し、開催情報などを幅広くかつスピーディーに発信する体制を構築しました。また、多くの報道機関にご協力いただき、各種情報を展開しました。

### 4 課題

- ア 年間を通し継続的に発信を行うことが引き続き必要です。
- イ 幅広い世代や市内外に広くまつりを周知するため、時代に適応した広報手法を引き続き検討します。